

環境省主催「平成23年度鳥獣保護管理における人材育成研修」実施報告

1. 研修の目的

近年、ツキノワグマなどの地域的に個体数の減少がみられる野生鳥獣がある一方で、イノシシやニホンジカやカワウなど特定の鳥獣の生息域拡大により、生態系や農林水産業等への被害が深刻化している。平成23年度はカワウの個体群管理をテーマに、2回の研修会を開催し、カワウの個体群の管理を「群れの分布」と「個体数」に注目して、最新の技術や計画作りの考え方を学ぶ機会を提供した。1回目は分布の管理として、「ねぐら・コロニーの管理」についての講義とねぐら除去の実習を愛知県で行った。ここでは、実際に釣り竿を使ったビニル紐張りを行う実習をした。2回目は、「個体数調整」について、有害捕獲の現状と新しい試みについての講座を千葉県で開催した。

2. 第1回（カワウ分布管理）研修会

2.1 研修の内容（行程と概要）

研修では、愛知県東大手庁舎会議室での座学と、弥富野鳥園（愛知県）での除去実習、ねぐらカウント調査を行った。以下には、行程と実施した概要を示す。

11月28日（月）

12:30～13:00 受付

13:00～13:15 開会 挨拶 オリエンテーション

13:15～13:55 講義A：カワウの生態

（講師：加藤ななえ・NPO法人バードリサーチ）

カワウの分類、行動の特徴、繁殖、食性、移動、個体数と分布の変化など、カワウの基本的な生態について説明。

13:55～14:35 講義B：特定鳥獣保護管理計画とカワウの広域管理について

（講師：高木憲太郎・NPO法人バードリサーチ）

鳥獣保護法、特定鳥獣保護管理計画、広域保護管理など、カワウの保護管理に関わる法制度や体制などについて説明。

14:35～14:50 休憩

14:50～16:00 講義C：カワウ被害軽減のためのコロニー・ねぐら管理とは

（講師：亀田佳代子・滋賀県立琵琶湖博物館

石田朗・愛知県新城設楽農林水産事務所）

森林被害や漁業被害への効果的な対応方法について説明。

16:00～16:40 講義D：新潟県におけるねぐら除去事例

（講師：山本麻希・長岡技術科学大学）

新潟県におけるカワウの生息状況や被害状況と、具体的な対策事例の紹介。

- 16:40～16:50 野外実習の説明
17:00 解散
18:00～20:00 懇親会

11月29日(火)

- 9:00～9:45 講義E：ねぐら除去手法について
(講師：坪井潤一・山梨県水産技術センター)
午後に実施する実習1にむけて、ねぐら除去手法であるビニルひも張りの方法とその効果について説明。
- 9:45～10:05 講義F：ねぐらやコロニーにおけるカワウの個体数調査方法
(講師：加藤ななえ・NPO法人バードリサーチ)
カワウの保護管理を行う上で基本となる、ねぐらやコロニーにおけるカワウのカウント方法について説明。
- 10:05～10:20 休憩
- 10:20～12:15 移動・昼食(愛知県東大手庁舎より弥富愛鳥園へ貸切バスによる移動・各自バス内で昼食をすませた)
- 12:15～12:30 説明：弥富野鳥園について
(講師：伊藤元季所長・(財)愛知公園協会)
- 12:30～14:30 実習1：ねぐら除去
(講師：坪井潤一，芦澤晃彦・山梨県水産技術センター)
弥富野鳥園の一角(カワウのコントロール区となっている場所)で、参加者が実際にビニルひも張りを体験した。前日に予備調査を行ったときにはカワウがねぐらとして利用している場所であったが、ビニルひもを張った後のカウント調査時には、その場所を利用するカワウはおらず、効果が確認できた。
- 14:30～15:00 移動(徒歩で弥富野鳥園東側の土手へ)
- 15:00～17:00 実習2：ねぐらカウント
3グループに分かれて、それぞれのグループでカワウのカウントを実施した。翌日カウント結果をグループ毎に比較したが、グループ間で結果に差があり、正確に個体数をカウントするためには、ある程度の慣れや経験が必要であることが実感できた。
- 17:00～17:30 移動(徒歩で弥富野鳥園駐車場へ)
- 17:30～19:00 移動(弥富愛鳥園より名古屋駅経由県庁前へ貸切バスによる移動)
- 19:00 解散

11月30日(水)

9:30～10:00 講義G：東京都浜離宮庭園におけるねぐら除去事例

(加藤ななえ・NPO法人バードリサーチ)

東京都浜離宮庭園におけるねぐら除去事例と、そこからみえてきた課題について説明。

10:00～10:45 講義H：夷隅川におけるねぐら除去事例

(講師：藍憲一郎・千葉県水産総合研究センター内水面水産研究所)

千葉県の夷隅川におけるねぐら除去事例を具体的に紹介。

10:45～11:00 休憩

11:00～12:00 講義I：ねぐら管理の進め方

(講師：坪井潤一・山梨県水産技術センター)

山梨県で行われている対策事例を紹介しながら、カワウのねぐら管理の進め方について説明。

12:00～12:20 質疑等

12:20～12:25 挨拶

12:25 閉会

2.2 研修の実施状況

研修の実施状況を以下に示す。

講義の様子



愛知県東大手庁舎会議室

実習1（ねぐら除去）の様子



テグスの先に付けるオモリについて説明



リールの巻き取り方について説明



参加者によるひも張り



ビニルひもを張った後の状況

実習2（ねぐらカウント）の様子



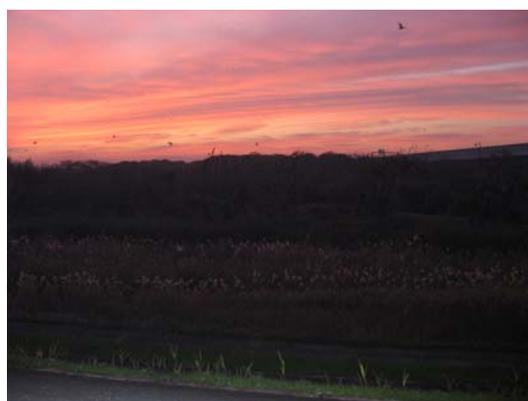
土手の上でカウント方法の説明



飛来するカワウをカウント中



次々に飛来するカワウをカウント
(空の黒い小さな点はカワウ)



日没後でもねぐら上空を巡回するカワウ

3．第2回（カワウ個体数管理）研修会

3．1 研修の内容（行程と概要）

研修では、行徳文化ホール大会議室での座学と、行徳鳥獣保護区（千葉県行徳野鳥観察舎）でのコロニーの現地視察を行った。以下には、行程と実施した概要を示す。

2月16日（木）

13:10～13:30 受付

13:30～13:45 開会 挨拶 オリエンテーション

13:45～14:15 講義A：カワウの生態

（講師：加藤ななえ・NPO法人バードリサーチ）

カワウの分類、行動の特徴、繁殖、食性、移動、個体数と分布の変化など、カワウの基本的な生態について説明。

- 14:15～14:55 講義B：特定鳥獣保護管理計画とカワウの広域管理について
 (講師：千葉康人・環境省野生生物課鳥獣保護業務室)
鳥獣保護法、特定鳥獣保護管理計画、広域保護管理など、カワウの保護管理に関わる法制度や体制などについて説明。
- 14:55～15:25 講義C：カワウの有害鳥獣捕獲と狩猟
 (講師：高木憲太郎・NPO法人バードリサーチ)
有害鳥獣捕獲と狩猟の違いについて説明し、カワウの捕獲数の動向や狩猟者数の動向など、保護管理のツールといった側面から、カワウの捕獲に関する分析結果を紹介。
- 15:25～15:40 休憩
- 15:40～16:40 講義F：野生鳥獣における個体数調整の課題と対策のすすめ方
 (講師：羽山伸一・日本獣医生命科学大学)
生息地管理、個体群管理、被害管理を中心にワイルドライフマネジメントについて説明。
- 16:40～17:40 講義E：Sharpshooting による個体数調整 ～滋賀県のカワウ管理～
 (講師：須藤明子・(株)イーグレット・オフィス)
捕獲計画の立案、Sharpshooting、カワウ個体の回収、分析といった、個体数調整の取り組みの他、Sharpshooting の有効性について紹介。
- 17:40～17:50 事務連絡
- 18:30～20:30 懇親会

2月17日(金)

- 9:00～9:15 受付 行徳文化ホール I & I 前広場
- 9:15～9:45 移動(行徳文化ホールより行徳鳥獣保護区へ貸切バスによる移動)
- 9:45～10:00 視察A：お話し「行徳鳥獣保護区とカワウについて」
 (講師：蓮尾純子・行徳野鳥観察舎友の会)
- 10:00～11:30 視察B：カワウの繁殖と営巣台
佐藤氏よりカワウの繁殖について説明を受けた後、金属パイプで組んだカワウの営巣台を視察。既に、産卵されている巣や抱卵している個体などが確認された。
- 視察C：カワウのコントロール区
棒などで巣落としをすることにより、カワウに巣を作らせない区域を視察。
 (現地案内：佐藤達夫、山口誠・行徳野鳥観察舎友の会)
- 11:30～12:00 移動(行徳鳥獣保護区より行徳文化ホールへ貸切バスによる移動)
- 12:00～13:00 昼食休憩
- 13:00 開場

- 13:15～14:15 講義D：繁殖抑制による個体数管理
(講師：坪井潤一・山梨県水産技術センター)
ビニルひも張り、擬卵、ドライアイスといった繁殖抑制方法について、実際に飼養する道具などを用いながら解説。また、山梨県の個体数管理で実施したその効果などについても紹介。
- 14:15～14:30 休憩
- 14:30～15:30 講義G：個体数調整の準備と計画
(講師： 須藤明子・(株)イーグレット・オフィス
坪井潤一・山梨県水産技術センター)
カワウの個体数調整の進め方を、これまでの経験や事例などを踏まえながら説明。
- 15:30～15:50 質疑
- 15:50 閉会 挨拶

3.2 研修の実施状況

研修の実施状況を以下に示す。

講義の様子



行徳文化ホール大会議室

視察



行徳鳥獣保護区とカワウについて
お話を伺う



カワウ繁殖地へ徒歩で移動



鳥獣保護区とカワウの繁殖地について説明



カワウの人工営巣台